

学習指導要領の改訂に向けた動きなど
お役立ち Hot 情報をお届けするニュースレター

きょういく プレス



平成 28 (2016) 年 3 月 10 日

第 10 号

発行 桐ぎょうせい

(隔週木曜発行)

〒 136-8575 東京都江東区新木場 1-18-11

フリーコール 0120-953-431

フリー FAX 0120-953-495

Web サイト <http://gyosei.jp>

e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

「ぎょうせい」は、学校教育に携わる皆様のため、教育行政・学校学級経営・教科教育・授業づくりに関する書籍をはじめ、様々なコンテンツをご提供しています。

中央教育審議会
総則・評価特別部会

各教科等の特質を踏まえた アクティブ・ラーニングのあり方 などを議論

教育課程部会総則・評価特別部会は 2 月 24 日、アクティブ・ラーニングと資質・能力の関係性についての議論に入った。アクティブ・ラーニングについては、現在、一部にみられるような特定の型にはめた学習スタイルを定義するものではないことを確認した上で、資質・能力を総合的に育成していくための視点（深い学び、対話的な学び、主体的な学び）を分かりやすく示していくことの必要性が強調された。

特に、「深い学び」については、「対話的な学び」「主体的な学び」に比べ、その充実が不十分との認識から、各教科等の特性に応じた学習内容からのアプローチが必要とされ、「各教科の本質」に根ざした「見方・考え方」に焦点が当てられた。

「見方・考え方」については、現行の学習指導要領においてもすでに示されており、例えば、中学校では、国語で「文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くす

る」、数学で「平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などを通して、図形に対する直観的な見方や考え方を深める」などという記載がみられる。これら各教科等の特性に応じた「見方・考え方」が知識・技能を習得したり、知識を他と関連付けて定着させることで「深い学び」につなげられるという。

とにかく、アクティブ・ラーニングが総合的な学習の活動イメージと重なることから、各教科等の特性に応じた「深い学び」について、改めてその充実を提言した形だ。

ただ、「各教科の本質」については、その定義が定説となっていないことから、今後は、「見方・考え方」などを抛り所に、「教科等の特性」に関する議論に進んでいきそうだ。

また、各教科等の特性に着目するとともに、「見方・考え方」の示し方や各教科等間の関連性の明確化、さらには、小中・中高・高大の接続・連携の視点から全体的な教育課程の構造化、各教科等の特質を踏まえた、発達段階に応じたアクティブ・ラーニングのあり方や、アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントの関連などについても検討すべき項目として意見が出された。

教科等部会の議論が進む中、総則・評価特別部会でも教科等に議論の焦点が移ってきた形だが、“本丸”である「資質・能力の育成」と各教科等の関わりについての明確な提言が待たれるところだ。

多様な不登校要因に着目した報告案を検討

不登校に関する調査研究協力者会議は2月26日、「不登校児童生徒への支援に関する最終報告(案)」についての議論を行った。

報告案では、「チーム学校」を踏まえ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを含めた、学校全体での組織的支援が必要とした。

「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」(平成26年度)などから、新たに指摘されている課題として、周囲との人間関係がうまく構築できない、学習のつまづきが克服できないといった状況が進んでいることを指摘。

これまで、「自己肯定感」を持たせることが学校復帰や自立を果たすという視点が重要とされてきたことに対し、「不登校モデルは、かつてと大きく変わっている」と自己肯定感の醸成だけでは不十分との意見も出た。

報告では、自閉症、学習障害、AD/HDなど発達障害にも焦点を当てた丁寧なアセスメントの必要性が強調されそうだ。出席扱いなど学校裁量についても判断しやすい観点が必要との意見もあり、実践的な観点からの最終調整が図られる。



3月 ◆10日 東京都平和の日/砂糖の日 ◆11日 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生(2011) ◆12日 奈良・東大寺、お水取り ◆13日 青函トンネル開業記念日 ◆14日 数学の日(円周率3.14) ◆15日 靴の日/世界消費者権利デー ◆16日 国立公園指定記念日/財務の日 ◆17日 漫画週刊誌の日(講談社『週刊少年マガジン』、小学館『週刊少年サンデー』創刊、1959) ◆18日 点字ブロックの日 ◆19日 立花記念日(神奈川県) ◆20日 電卓の日/春分の日(2016) ◆21日 ランドセルの日 ◆22日 貝殻忌(新美南吉の忌日)/世界水の日 ◆23日 世界気象デー ◆24日 世界結核デー ◆25日 電気記念日 ◆26日 楽聖忌(ベートーベンの忌日) ◆27日 さくらの日 ◆28日 スリーマイル島原発事故(1979)/シルクロードの日 ◆29日 マリモの日 ◆30日 アニメ『巨人の星』放送開始(1968) ◆31日 オーケストラの日

●●●3/10～31 生まれの著名人(敬称略)○○●

3月 渥美清(10日)、松田聖子(10日)、大隈重信(11日)、大沢たかお(11日)、勝海舟(12日)、やくみつる(12日)、高村光太郎(13日)、吉永小百合(13日)、アインシュタイン(14日)、五木ひろし(14日)、平岩弓枝(15日)、武豊(15日)、浅利慶太(16日)、木村多江(16日)、藤森慎吾(17日)、香川真司(17日)、横山やすし(18日)、奥田瑛二(18日)、張作霖(19日)、稲森いずみ(19日)、斎藤喜博(20日)、竹内まりや(20日)、田崎真也(21日)、江國香織(21日)、中山晋平[作曲家](22日)、大橋巨泉(22日)、黒澤明(23日)、津本陽(23日)、原田泰造(24日)、綾瀬はるか(24日)、橋本治(25日)、エルトン・ジョン(25日)、ダイアナ・ロス(26日)、京極夏彦(26日)、遠藤周作(27日)、松本孝弘[B'z](27日)、松雪泰子(28日)、的場浩司(28日)、西島秀俊(29日)、鈴木亮平(29日)、ゴッホ(30日)、千原ジュニア(30日)、朝永振一郎(31日)、館ひろし(31日)

月刊シリーズ『**新教育課程ライブラリ**』(全12巻)

Vol.3 子どもの姿が見える評価の手法

Vol.3
3月16日
発刊!

■特集——子どもの姿が見える評価の手法

●解説

これまでの議論に見るこれからの評価のあり方(無藤 隆)/資質・能力をみとめる評価活動のあり方(佐藤 真)/アクティブな学びと評価の視点——シンキングツールと評価(黒上晴夫)/パフォーマンス評価の考えと実際(石井英真)/新教育課程に生かす様々な評価方法(根津朋実)/指導と評価の一体化を進める視点と実際の取り組み方(香田健治)

●事例

兵庫県佐用町立佐用小学校/佐賀大学文化教育学部附属小学校/京都市立京都御池中学校

●提言

カリキュラム・マネジメントとして取り組む評価への転換(高木展郎)

■巻頭インタビュー

富田富士也[子ども家庭教育フォーラム代表、教育・心理カウンセラー]

■連載

新課程を生かすカリキュラム・マネジメント(天笠 茂)/「育ち」と「学び」をつなげる授業(奈須正裕)/実践!アクティブ・ラーニング研修(村川雅弘)/ミドルリーダーが創るこれからの学校(大脇康弘)/学校改革の新定石(西留安雄)/教育課程改訂の動向(文科省教育課程課)/新学習指導要領に向けた指導の充実(教科調査官) ほか

●卒業式や修了式に向けて先生方はひときわ忙しくお過ごしのことと思います。学校の新しい一年の始まりもすぐそこ。どうぞ健康に留意してハレの日をお迎えください! ●「きょういくプレス」無料メール配信サービスのお申込みを承り中です。右のQRコードから簡単にお手続きいただけます。この機にぜひお申し込みください。



●ご注文・お問い合わせ先

(株)ぎょうせい

フリーコール 0120-953-431
フリーFAX 0120-953-495
Webサイト <http://gyosei.jp>
e-mail Eigyo-edu@gyosei.co.jp

◎取扱者